



2024年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年12月12日

上場会社名 株式会社イムラ

上場取引所 東

コード番号 3955

URL <https://www.imura.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 井村 優

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長

(氏名) 和田 寿一

(TEL) 06(6586)6121

兼経理部長

四半期報告書提出予定日 2023年12月14日

配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 無

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年1月期第3四半期の連結業績（2023年2月1日～2023年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年1月期第3四半期	16,023	△2.9	1,165	△2.0	1,248	△3.7	824	△3.0
2023年1月期第3四半期	16,496	7.8	1,189	9.7	1,296	6.7	850	△12.6

(注) 包括利益 2024年1月期第3四半期 810百万円 (9.8%) 2023年1月期第3四半期 737百万円 (△19.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年1月期第3四半期	82.33	81.67
2023年1月期第3四半期	84.95	84.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年1月期第3四半期	20,595	15,865	76.8
2023年1月期	19,671	15,335	77.7

(参考) 自己資本 2024年1月期第3四半期 15,817百万円 2023年1月期 15,283百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年1月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年1月期	—	0.00	—		
2024年1月期（予想）				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年1月期の連結業績予想（2023年2月1日～2024年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	5.8	1,950	37.1	2,000	28.1	1,450	42.7	144.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年1月期3Q	10,729,370株	2023年1月期	10,729,370株
② 期末自己株式数	2024年1月期3Q	697,753株	2023年1月期	726,853株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年1月期3Q	10,019,127株	2023年1月期3Q	10,010,418株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についての注意）

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、本資料の発表日現在における経済環境や事業計画等に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「潤創（じゅんそう）～社会と人生に潤いを創造する～」を新たな経営理念である「IMURA PHILOSOPHY STRUCTURE」の起点に掲げ、「変革とイノベーション（革新）により新たな成長軌道を実現し、企業価値の更なる向上を図ることにより全てのステークホルダーに最高の付加価値を提供する。」を基本方針とする3か年の中期経営計画「IMURA VISION 2030 Stage I」を2021年度よりスタートさせ、新生イムラの基盤づくりを、全社を挙げて進めております。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴う経済活動の正常化やインバウンド需要により、経済活動は回復基調で推移いたしました。燃料費や原材料価格の高騰が今後の企業活動や家計に及ぼす影響について懸念されております。

当社グループの事業領域に影響を及ぼす郵便及びメール便の取扱数量は減少傾向が続いており、ダイレクトメール市場においても、「折込・DM郵便料（経済産業省公表）」が低下するなど、社会のデジタル化進展による紙媒体の需要減少もあって、当社グループを取り巻く環境は不透明な状況で推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、販売数量の低下に加え、コロナ禍収束による特需の減少もあり、160億23百万円（前年同期比2.9%減）となりました。損益面につきましては、材料価格高騰の影響を固定費の抑制で吸収するものの、減収の影響により、営業利益は11億65百万円（前年同期比2.0%減）、経常利益は12億48百万円（前年同期比3.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、投資有価証券売却益を計上する一方で、基幹システムの開発に係る減損損失や子会社における固定資産除却損等の計上もあり、8億24百万円（前年同期比3.0%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

(パッケージソリューション事業)

ワクチン接種券や統一地方選等のスポット案件が下支えとなるものの、社会のデジタル化の進展により、事務用封筒を中心に販売数量が減少したほか、ダイレクトメール用封筒の需要も低迷したことから、売上高は117億33百万円（前年同期比3.0%減）となりました。損益面では、材料価格が上昇するものの、内製化推進による外注加工賃の抑制や固定費の減少もあって、営業利益は8億26百万円（前年同期比19.1%増）となりました。

(メーリングサービス事業)

前期に発生した各種自治体向けの大口案件剥落の影響でサービス加工の売上が減少したことを主因に、売上高は30億7百万円（前年同期比4.3%減）となりました。損益面では、株主優待等のサービス拡大に伴う商品仕入の増加で、売上総利益率が低下したこともあり、営業利益は2億72百万円（前年同期比42.3%減）となりました。

(その他)

医療機関向け印刷物を手掛ける子会社の売上が回復するものの、封入機の製造販売を手掛ける子会社及び情報システム事業が減収となり、売上高は12億82百万円（前年同期比1.5%増）となりました。損益面では、医療機関向け印刷物を手掛ける子会社の生産機能の移管等、グループを挙げての効率化への取り組みが奏功したこともあり、営業利益は57百万円（前年同期比197.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ9億24百万円増加して205億95百万円となりました。これは主に、現金及び預金、原材料及び貯蔵品、機械装置及び運搬具が増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3億94百万円増加して47億29百万円となりました。これは主に、賞与引当金が増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ5億29百万円増加して158億65百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものです。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント低下して76.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月14日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,764	2,891
受取手形、売掛金及び契約資産	3,249	3,280
電子記録債権	1,227	932
商品及び製品	454	557
仕掛品	218	241
原材料及び貯蔵品	587	707
その他	145	174
貸倒引当金	△9	△6
流動資産合計	8,637	8,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,374	1,435
機械装置及び運搬具(純額)	1,651	2,130
土地	4,572	4,621
その他(純額)	871	950
有形固定資産合計	8,469	9,138
無形固定資産	135	147
投資その他の資産		
投資有価証券	1,107	1,142
退職給付に係る資産	662	638
その他	667	753
貸倒引当金	△8	△4
投資その他の資産合計	2,429	2,530
固定資産合計	11,033	11,816
資産合計	19,671	20,595

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	944	1,036
電子記録債務	939	789
1年内返済予定の長期借入金	10	10
未払法人税等	247	281
賞与引当金	555	814
その他	1,129	1,268
流動負債合計	3,826	4,200
固定負債		
長期借入金	68	61
退職給付に係る負債	133	163
資産除去債務	124	125
その他	182	178
固定負債合計	508	528
負債合計	4,335	4,729
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	1,383	1,389
利益剰余金	12,309	12,834
自己株式	△450	△432
株主資本合計	14,441	14,990
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	339	395
退職給付に係る調整累計額	503	431
その他の包括利益累計額合計	842	827
新株予約権	37	33
非支配株主持分	14	15
純資産合計	15,335	15,865
負債純資産合計	19,671	20,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
売上高	16,496	16,023
売上原価	12,042	11,568
売上総利益	4,453	4,454
販売費及び一般管理費	3,264	3,289
営業利益	1,189	1,165
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	30
受取賃貸料	16	12
売電収入	7	7
その他	71	44
営業外収益合計	119	95
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	4	4
売電費用	4	4
その他	2	3
営業外費用合計	12	12
経常利益	1,296	1,248
特別利益		
固定資産売却益	64	1
投資有価証券売却益	-	81
特別利益合計	64	83
特別損失		
固定資産売却損	3	-
固定資産除却損	9	45
減損損失	94	45
投資有価証券評価損	1	3
特別損失合計	108	94
税金等調整前四半期純利益	1,252	1,236
法人税、住民税及び事業税	457	453
法人税等調整額	△56	△41
法人税等合計	400	411
四半期純利益	851	825
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	850	824

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年2月1日 至 2022年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年2月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	851	825
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	56
退職給付に係る調整額	△106	△71
その他の包括利益合計	△113	△15
四半期包括利益	737	810
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	736	809
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年2月1日至2022年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	12,091	3,140	15,232	914	16,146	—	16,146
一定期間にわたり移 転される財又はサー ビス	—	—	—	333	333	—	333
顧客との契約から生 じる収益	12,091	3,140	15,232	1,248	16,480	—	16,480
その他の収益	—	—	—	15	15	—	15
外部顧客への売上高	12,091	3,140	15,232	1,264	16,496	—	16,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高	135	11	147	20	167	△167	—
計	12,227	3,152	15,379	1,284	16,663	△167	16,496
セグメント利益	693	473	1,166	19	1,186	3	1,189

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

報告セグメントに帰属しない全社資産において、基幹システムの開発計画見直しに伴い、該当する資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては94百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年2月1日至2023年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	パッケージ ソリューション 事業	メーリング サービス事業	計				
売上高							
一時点で移転される 財又はサービス	11,733	3,007	14,740	1,006	15,747	—	15,747
一定期間にわたり移 転される財又はサー ビス	—	—	—	276	276	—	276
顧客との契約から生 じる収益	11,733	3,007	14,740	1,282	16,023	—	16,023
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	11,733	3,007	14,740	1,282	16,023	—	16,023
セグメント間の内部 売上高又は振替高	223	32	255	18	274	△274	—
計	11,957	3,039	14,996	1,301	16,298	△274	16,023
セグメント利益	826	272	1,099	57	1,156	8	1,165

(注) 1 その他には、以下の事業が含まれております。

コンピュータ及び周辺機器類の販売、ソフトウェアの開発
医療機関用印刷物の製造販売及び医療機関用諸物品の販売
機械器具の自動制御装置及び電子回路の設計製造販売

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引の消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

報告セグメントに帰属しない全社資産において、業務効率化のため基幹システムの刷新を進めてまいりましたが、前期において、すでにシステムの効果が見込めなかった部分について減損損失を計上しております。当第3四半期連結会計期間では、システム設計に係る追加工数の支払いの合意に基づき生じた部分についても、該当する資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては45百万円であります。